

■増命 僧。第十代天台座主。宇多上皇・醍醐天皇から篤い帰依を受け、円珍の智証大師号を実現。

どうみょう

・ ・ ・ ・ ・ 843＝ 生。平安京の人。左大史桑内安岑の子。

・ ・ ・ ・ ・ 852＝ 9歳：

・ ・ ・ ・ ・ 855＝12歳： 比叡山に登り，延最に師事。

人民摂政の実 858＝15歳： 東大寺戒壇院で具足戒を受ける。

・ ・ ・ ・ ・ 861＝18歳：
 円仁に師事して天台教学を学び，

富士山噴火・ 864＝21歳： 円仁の死去後，

応天門の変・ 866＝23歳：
・ ・ ・ ・ ・ 867＝24歳： 比叡山で菩薩の大戒を受ける。

・ ・ ・ ・ ・ 870＝27歳：

元慶官田・ ・ 879＝36歳：

・ ・ ・ ・ ・ 885＝42歳： *円珍座主より三部灌頂を受け，内供奉十禅師に任ぜられている。

宇多天皇即位 887＝44歳：
阿衡の儀終・ 888＝45歳：

道真藏人頭・ 891＝48歳： 西塔釈迦堂の後に草庵常行三昧堂を建立，以来，座禅・不断念仏を行う。

宇多上皇・ ・ 897＝54歳：

時平左大臣・ 899＝56歳： 園城寺長吏となる。

菅原道真左遷 901＝58歳：

・ ・ ・ ・ ・ 904＝61歳： 宇多上皇は増命の千光院に幸し，
古今和歌集・ 905＝62歳： 比叡山戒壇院で増命を師として廻心戒を，さらに胎藏・金剛兩部の大法をも受けている。
・ ・ ・ ・ ・ 906＝63歳： *天台座主に任命される。宇多はこれを賀するため登山し，蘇悉地法を受けたという。

・ ・ ・ ・ ・ 910＝67歳： 法橋上人位を授けられ，宇多は重ねて上山し，三部大法灌頂の法を受けている。醍醐天皇から法眼和尚位
を与えられ，さらに宇多からは千光院で阿闍梨位を授けられた。有験の僧としても高く評価されており，

・ ・ ・ ・ ・ 913＝70歳： 修法により雨を祈り，右大臣源光に対しては延命菩薩法を修して功を奏し，

・ ・ ・ ・ ・ 915＝72歳： 庖瘡が流行して聖体不予となると，召されて加持を行ない，功により少僧都となり，
・ ・ ・ ・ ・ 916＝73歳： *大僧都となる。この年，宮中で怪があると，夜ごと殿上に侍して念講している。

道真本官復位 923＝80歳： 皇太子が急逝したり，妖怪が宮中で大暴れすると，百日余にわたって加持している。同年，天台座主職は
解かれるが，僧正となる。

・ ・ ・ ・ ・ 924＝81歳：
・ ・ ・ ・ ・ 925＝82歳： また加持によって醍醐の瘡を平復させている。

延喜式完成・ 927＝84歳： *西塔常行三昧堂で，四面の壁や柱に極楽浄土を画かせている。このことからすると増命は，一方では験者
として人々の信頼を集めつつ，同時にまた熱心な浄土教徒でもあった。西方を礼拝し，阿弥陀仏を念じつつ
往生した。勅して静観と諱された。